

令和4年度第1回理事会議事録

静岡県国民健康保険団体連合会

1 開催日時及び開催場所

令和4年7月11日（月）午後4時20分～午後5時42分
ホテルアソシア静岡 3階「橘」
静岡市葵区黒金町56

2 出席者の氏名

(1) 理事 7名

理事長	須藤 秀忠（富士宮市長）
副理事長	田村 典彦（吉田町長）
常務理事	萩原 綾子（学識経験者）
理事	影山 剛士（湖西市長）
	柳澤 重夫（御前崎市長）
	太田 康雄（森町長）
	尾崎 元紀（静岡県歯科医師国保組合理事長）

(2) 監事 2名

会 員	仁科 喜世志（函南町長）
会 員 外	畔村 勇次（公認会計士）

(3) 書面表決による出席者 3名

副理事長	染谷 絹代（島田市長）
理 事	中野 弘道（焼津市長）
	佐古 伊康（しずおか健康長寿財団理事長）

3 理事会の議事の経過及びその結果

(1) 理事会の成立

理事総数10名のうち7名の本人出席及び3名の書面表決による出席があり、規約第30条に規定する定数に達したため、理事会は有効に開催された。

(2) 理事長挨拶

- ・政府が6月7日に「新しい資本主義に向けた改革」への対応として「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針2022）」が閣議決定し、医療関連では「医療DX」を推進していくこととしている。
- ・同日には「デジタル社会の実現に向けた重点計画」も閣議決定され、マイナンバーカードの健康保険証利用促進を取り上げている。

- ・これらの実現に向けては、来年4月から医療機関や薬局に、原則義務化されるオンライン資格確認システムの導入をはじめ、マイナンバーカードの普及と保険証利用登録の促進、電子カルテ情報の標準化などが必要不可欠となり、本会の業務運営にも大きな影響を及ぼすため、注視していく。
- ・昨年4月から受託しているコロナワクチン接種費用の支払事務について、4回目の接種も実施されることから、今年度も引き続き受託する。
- ・国保総合システムの次期機器更改は、昨年3月末に厚生労働省、支払基金と国保中央会が発表した「審査支払機能に関する改革工程表」に沿って進めていくこととしているが、令和4年度及び令和5年度で多額の財源不足が生じるとの試算から、各国保連合会が昨年5月、都道府県知事等に対し陳情活動を行った。
- ・また、今年3月には、令和5年度分の不足額について、再度陳情活動を行った。
- ・今後は厚生労働大臣をはじめ、主要な国会議員及び関係省庁等に対し、国保中央会と全国国保連合会において国庫補助獲得のための陳情活動を行う予定。
- ・本日は、令和3年度の事業報告・決算、役員補充の議案及び中期経営計画に係る評価委員会の結果報告について御審議をお願いしたい。

(3) 県国民健康保険課長挨拶

- ・国民健康保険及び介護保険等に係る円滑な事業運営に対する謝辞。
- ・新型コロナウイルス感染症対策において、令和2年度に医療従事者等への慰労金及び支援金交付事業、昨年度は介護及び障害福祉サービス施設・事業所への支援事業に御協力いただき、改めてお礼申し上げる。
- ・国民健康保険に関しては、平成30年度の国保改革の目的のさらなる深化を図るため、将来的な保険料水準の統一に向け、昨年度から、市町や連合会に参画いただき、二つのワーキンググループを設置し、検討を始めている。
- ・保健事業に関しては、県民の健康寿命のさらなる延伸を図るため、昨年開学した静岡社会健康医学大学院大学と連携し、KDB データを最大限に活用したデータヘルスに基づく予防・健康づくりに取り組んでいる。
- ・国保総合システムの次期更改への対応においては、県も国に対して十分な財政支援を要望しているところである。
- ・介護保険に関しては、連合会には地域包括ケアシステムの推進及び介護給付適正化の取組に多大な御理解と御協力を賜っており、今年度も引き続き、縦覧点検・医療情報との突合、介護給付適正化担当者説明会の実施等、第8期介護保険支援計画等推進への御支援をよろしくお願いしたい。
- ・今後とも国民健康保険・介護保険をはじめ、本県の健康福祉行政全般にわたり、市町・国保組合及び連合会と連携して取り組み、発展させていきたいため、御協力をお願いしたい。

(4) 議長選出及び議事録署名人選任

規約第 28 条の規定に基づき、須藤理事長が議長となって議事を開始した。
また、規約第 31 条の規定により、理事 2 名が議事録署名人に選任された。

(5) 議案及びその審議状況

①議案

<議決事項>

- ・議案第 1 号 静岡県国民健康保険団体連合会諸規則の一部改正
 - 1 静岡県国民健康保険団体連合会個人情報保護に関する規則の一部を改正する規則
 - 2 静岡県国保会館管理規則の一部を改正する規則
- ・議案第 2 号 次期国保総合システム導入作業等に係る業務委託契約の承認
- ・議案第 3 号 令和 4 年度静岡県国民健康保険団体連合会第 1 回通常総会提出議案
 - 1 令和 3 年度静岡県国民健康保険団体連合会事業報告
 - 2 令和 3 年度静岡県国民健康保険団体連合会一般会計ほか 7 特別会計歳入歳出決算及び財産管理状況
 - 3 令和 4 年度静岡県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算
(業務勘定第 1 次、公費負担医療に関する診療報酬支払勘定第 1 次、抗体検査等費用に関する支払勘定第 1 次)
 - 4 静岡県国民健康保険団体連合会役員補充
- ・議案第 4 号 令和 4 年度静岡県国民健康保険団体連合会第 1 回通常総会の招集

②審議状況

<議決事項>

- 議案第 1 号： ○別添議案書の議案第 1 号- 1 から第 1 号- 2 により、事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。
(第 1 号- 1 から第 1 号- 2 まで)
- 議案第 2 号： ○別添議案書の議案第 2 号により、事務局から提案説明があった。

(理事)

- ・オンライン請求トラブルとして、4、5 月に送信遅延や送信後のフリーズに医療機関が戸惑ったことから、データ移行システム切替えの際にはトラブルのないようお願いしたい。

(事務局)

- ・データ移行に関しては、令和5年度に2回のテスト運用を実施し、1月に本格的な導入のための移行を行うが、オンライン請求トラブルのような事象が起きないようにしていきたい。

(理事)

- ・厚労省のデータヘルス改革では、国保総合システムは、基盤整備という位置づけで、審査支払機関改革の進捗状況によって仕様設計がされているものかと思うが、進捗状況を示していただきたい。

(事務局)

- ・昨年度、審査支払システムの支払に係る部分については共同開発の会議を立ち上げて、今年度は3回議論されているところである。
- ・国保総合システムは保険者へ保険者共同処理という機能を提供しており、別の会議で検討されている。
- ・今後詳細を提示できるものがあれば提示していきたい。

(理事)

- ・国保運営で改革、改正、通達等について、市町向けに発出後、国保組合に発出されている。それにより、システムが市町向けには対応できたが国保組合向けにはシステムを組み終わっている所以对応できないといったようなことがないように国保組合の動きにも配慮をお願いしたい。

(事務局)

- ・国保総合システムに関して、本会から国保中央会に派遣している職員がいる。国保組合に特化した内容があることは認識しており、必要としていること等の意見を機能開発の可否を含め中央会に対し、提案させていただく。

○その後採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第3号：
(第3号-1から
第3号-2まで)

- 別添議案書の議案第3号-1から第3号-2により、事務局から提案説明があった。
- 監事から監査報告、外部監査人から会計監査報告があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第3号： ○別添議案書の議案第3号-3により、事務局から提案説明
(第3号-3) があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案ど
おり可決された。

議案第3号： ○別添議案書の議案第3号-4により、事務局から提案説明
(第3号-4) があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案ど
おり可決された。

議案第4号： ○別添議案書の議案第3号により、事務局から提案説明があ
り、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり
可決された。

(6) 議案審議終了後、次の事項について報告があった。

・中期経営計画実施状況の評価結果報告について（説明者：監事）

中期経営計画実施状況について、監事から、「概ね、計画どおり実施できている」と評価報告があった。

4 議長の氏名

須藤 秀忠（理事長）

この議事録が正確であることを証するため、記名押印する。

令和4年7月11日

議 長

静岡県国民健康保険団体連合会 理事長

富士宮市長

印

議事録署名人

湖西市長

印

御前崎市長

印